

宿縁

二月号

千葉県市川市国府台五丁目二十六番三十九号

浄土真宗
本願寺派 **中原寺**

TEL 〇四七―三七二一〇二九二
FAX 〇四七―三七二一〇二六二

仏教徒としての 在り方を問われる



暦は大寒から立春へと移って、何かしら心も体も行動的気分が湧いてくるような時期になりました。

ところが中国武漢市で確認された新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大が日々のニュースとなり、死者や感染者数の広がりが世界に恐怖を与えています。世界保健機関(WHO)もようやく事態の深刻さを受け止め緊急事態宣言を出しました。

ウイルスは目で見る事ができない小さな生物です。だから病原体(病気を起こす小

さな生物)が体に侵入すると拡大し、重症の病となります。また人から人へ2次3次と感染する怖さがあります。まだ特定されていませんが感染源とされる武漢市の生鮮市場では野生動物や希少生物およそ百二十種類が常時食糧として売買されていて、それらを食した人ではないかと推測されています。このような事態にあるときはデマが拡散して真偽不明な情報が飛び交うので十分気を付けたいものです。

いずれにしても飽食の時代にあつて、他の生きもののいのちを奪うことにマヒしてしまった私たちの生活にすっかり視点を合わせねばなりません。視点といてもそれぞれが勝手な見方をすることでではなく、仏教のおしえを基軸とする見方でなければなりません。

デンマークの詩人で童話作家として著名なアンデルセンは言っています。

『目は目を見ることができない
指は指をさすことはできない
自分のことはわからないものだ』

誰も自分の目をじかに見ることはできないし、親指も小指も己の指をさすことができないうように、自分の姿や行為は自身が一番分かっているのです。

解剖学者として、また虫の研究で知られる養老孟司さんは常に仏教的ものの見方をなさる人です。あるインタビュー記事に次

のように語っていました。

『宗教の大事な役割のひとつは「おまえさんには分からないものがあるんだよ」という謙虚さを与えてくれること。それが逆に「唯一正しいものに反するものは殺してもいい」と傲慢になることがある』
「人間は謙虚でない」と、例えば1台の車が廃車になるまでに1千万単位の虫を殺している。加害者であることに自覚的であることはとても大事だと思うんです」

釈尊が真理に目覚めてその法を説いた仏教が日本に伝えられてより、長い歴史の中でいつの間にか固定的な教えの伝承になってしまった仏教に大きな転換をもたらしたのは親鸞聖人の仏教でありましょう。

釈尊が到達された「さとり」は、誰もが忠実に修行すれば必ず同じ終着点を得られると信じてそのストーリーを頑なに歩んだ仏道の歴史に疑問を感じたのが親鸞聖人です。それは二十年間という年月を要しての末の目覚めだったということです。その目覚めとは己の器量への誤魔化しようのない体を通しての肯づきでありました。

「自分を信じて精進する道」ほど危ういものはありません。
それは終着点ばかりを見て自分自身を見つめることを忘れて「こうすればああなるはずだ」と思い込んでいる脳だけのはたらきに偏った行動だったということです。
親鸞聖人の教えの中心は「自分というものはいかに罪悪深き人間であるか(罪業深重)」という目覚めです。

ところが、親鸞聖人が行き着かれた教えは

究極なのだから、それを自分が信じていることが大切なのだと思いきや、とらえたらそれは違うと言わざるを得ません。

先の養老孟司さんは、「脳化社会」という言葉を使い、現代人の生き方を疑問視しています。それは、自然と接しながら感覚で感じ取る社会ではなく、頭の中で考えつくられた社会で人々が生きる社会ということなんです。
脳化社会は、身体的感覚を減退させ、脳にとつて心地よい世界を我々は築き続けるであろうといっています。

仏教徒として歩む姿勢は「体得」です。頭での理解ではないということです。

「浄土真宗の要は、信心です」と聞いて、「ただ信じればいいんですね」、「なかなか信じられませんか」というのは、わが頭で納得しようとして、私そのものをいっこうに問題としないからです。

親鸞聖人の「罪業深重のわれ」という自覚は、あくまでも私の全人格(社会とつながる私の在り方、他人との関係性における私の在り方)を阿弥陀仏のお心を尺度として言い表わされた目覚めです。

現代日本において、とかく浄土真宗の教えは何か力弱き受動的態度と誤解されやすいのですが、説かれる「浄土」という世界は現世の苦悩や煩悩の世界から切り離された、逃げ込む所ではなく、むしろこの世界に向かつて、救済力として働き出る活動の世界です。

正信偈に「極重悪人唯称仏、我亦在彼撰取中(いかなる悪人も、ただ念仏せよ。我らもまた、阿弥陀仏の救いの中にあり。)」とありますが、私が阿弥陀仏の本願(救済)に参加せしめられるということだと思えます。

【寺灯雑記】

○仏教婦人会で年次総会と新年会

1/11

仏教婦人会会旗が置かれた本堂では、二十九名の出席を得て先ず親鸞聖人御正忌にあたって正信偈のお勤めをいたしました。

年次総会では前年度事業及び決算報告、新年度の事業並びに予算案が示され、全員の承認を得ました。その中で任期満了に伴う役員改選があり、本間芳子会長が再任されたほか新たに4人が新理事に承認されました。

また新入会員の井上洋子さんが紹介され、本年度の法座では「正信偈」を学ぶことになりました。そして婦人会で購入した2組のCD「ひろさちや氏ー日本人の神さま仏さま」「早川一光氏ーみんな元気かい！」を貸し出しているのは是非借用して学んでもらいたいとの呼びかけがありました。

総会終了後の新年会では、ちょうどこの日誕生日であり四回目の成人式の年齢を迎えた前住さんにマフラーがプレゼントされました。そのあと新年恒例となりました前住さんの落語「無精床」が演じられたり、正月らしい福笑いやじゃんけんゲーム等にぎやかなひと時を過ごしました。

○仏教壮年会の総会と新年会を開く

1/26

令和2年度の年次総会と新年会は20名の会員が出席して開催されました。

御供茶式のあと始まった年次総会では、これまでの予算執行状況を精査した上から年会費の値下げ案について執行部から提出され、議論を経た後今年度からの年会費を年3千

円とすることに決まりました。会場からは法座や行事への積極的参加への意見も交換され、壮年会活動への意識を高めるよう会員相互の連携を模索しました。

またうれしいことに光本浩昭さんが新会員となつて紹介されました。

新年会では今年も自分勝手に「立川談坊留たてかわだんぼーる」と襲名した前住職の落語(婦人会の新年会と同じ)を聞いた後、傘寿のお祝いに「金剛心」という銘酒を寄贈し、そのお酒はすぐに参加者に回され飲み干されました。

○東京教区仏壯結成四十周年に参加

2/2

当寺壮年会が所属する東京教区仏教壮年会連盟の結成40周年記念大会が築地本願寺蓮華殿で開催され関東1都8県から20名(当寺から7名参加)を超す仏教壮年がテーマ「これでいいのかく仏壯のおもい」のもと参集しました。

布教使南條了瑛、南莊撰両師のお二人から「自信教人信(阿弥陀仏の本願の救いを自分も信じ、他人にも信を勧めること)」についての法話を伺い、その後仏教婦人会からの二名の女性を交えたパネルディスカッションがありました。参加者はそれぞれのお寺での壮年会活動の現状を認識しつつ今後の活動の在り方を探りました。

※映画「明日へく戦争は罪悪である」

*上映日…四月十八日(土) 2時と6時

*場所…市川市八幡市民会館

*前売券…1000円

老いた落語家が語り継ぐ、反骨の真宗僧侶(竹中彰元、植木徹誠)をモデルにした再び戦争を繰り返さないとの思いを共有する映画が上映されます。

主催…映画「明日へ」いちかわ上映委員会
中原寺も賛同団体となり協力していただきます。是非皆さまにもご鑑賞いただきたい存じます。前売券は当寺で受け付けています。

※当寺住職が築地本願寺で常例布教

当寺ご住職が二月二十七日(木)から三日(日)まで築地本願寺の間法ホールでの常例法座(左記時間)に出講致します。

- 二十七日ー十九時
- 二十八日ー十時半、十三時、十九時
- 二十九日ー十時半、十三時
- 一日ー 十時半、十三時

どうぞご聴聞にお出かけください。

※目に付いた読売新聞朝刊の記事

二月五日の朝刊に「お寺の掲示板 親しみやすく」の記事が掲載されていました。

「人生訓や仏教の言葉など、お寺の掲示板に最近、親しみやすい表現が増え、注目が集まっている。ふと目にした言葉が人生を考えるきっかけにもなると好評だ」
そして
「チョコレート 南無阿弥陀仏
大事な六字の贈り物」

という築地本願寺の掲示板の言葉が最初に紹介されていきました。バレンタインデーに贈られる心のこもったチョコと同様、南無阿弥陀仏も仏さまのお心の込められた贈り物。中原寺の山門掲示板もがんばるぞー

【法座・行事の案内】

○壮年会法座

*二月九日(日) 三時

法話「二月の法語カレンダーのことば」
講師…住職

参加者での座談会

○子育てサロン(パンダっ子)

*二月十日(月) 十一時〜十四時

お寺の空間で親子一緒に遊び語らう場

○常例法座

*二月十六日(日) 一時

おつとめ…正信偈和讃
講師…村上弘樹師(築地本願寺)

○門信徒会役員会

*二月十六日(日) 三時半

新年度第一回役員会は門徒総代会と合同で開催いたします。

○教行信証を学ぶ(行文類)

*二月二十九日(土) 二時

講師*前住職

○婦人会法座(正信偈を学ぶ)

*三月七日(土) 一時

終了後に有志でヨガ教室

【二月の掲示板のことば】

本当に大事なものは
隠れて見えない